授業科目名： 病弱教育指導法	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 南風野久子 担当形態：　単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科　目	特別支援教育領域に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目（中心領域：病）		

「学位授与の方針」との関係

DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知）
DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）

授業のテーマ及び到達目標

病虚弱児に対する教育については、従来あまり積極的な考え方がなされていなかった。今日、この教育の対象となっている病虚弱児の場合には慢性の病患や身体虚弱のために、長期にわたり医療や生活規制を必要とするものであり、その間適切な教育が受けられない場合は心理的・社会的に種々の不適応を起こし、病気の回復を妨げる恐れがある。病弱教育では、病類に応じた教育的配慮が行われていることを理解する。また、自立活動及び自立活動の指導と関連付けた具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。

授業の概要

関係法規や学習指導要領に示されている規定を踏まえながら、以下のことについて学んでいく。
（１）多様な教育相談活動の実施について学習する。
（２）児童生徒の実態の把握の方法を学習する。
（３）教育課程の編成及びカリキュラム・マネジメントについて学習する。
（４）自立活動の指導について学習する。

授業計画

第１回：病虚弱児教育の意義を踏まえた教育課程編成
第２回：病虚弱児教育の指導内容・指導方法・指導計画
第３回：病虚弱児への教育的支援①幼児期における支援（早期教育相談体制の充実など）
第４回：病虚弱児への教育的支援②義務教育段階における支援
第５回：教育課程に基づく指導計画の作成①：病状の重い児童生徒（学習空白、学習の遅れ、身体活動の制限）
第６回：教育課程に基づく指導計画の作成②：回復期にある児童生徒（経験の不足や偏り）
第７回：教科指導と生活指導（①グループ編成の工夫　②直接的経験の機会を多くする）
第８回：教科指導と生活指導（③教材、教具の開発と活用、ICTの活用　）
第９回：教科指導と生活指導（④保健や安全への配慮）
第１０回：自立活動の指導と個別指導計画
第１１回：学習指導案の作成（①目標　②内容　③指導計画の作成　④障害の種類に応じた指導）
第１２回：カリキュラム・マネジメントの視点に立った授業改善及び教育課程の評価・改善
第１３回：進路に対する支援
第１４回：医療との連携のための組織
第１５回：特別支援学校と地域の小･中学校や幼稚園、保育所、療育センターなどとの連携
科目修得試験

スクーリングでの学修

テキスト
（１）独立行政法人　国立特別支援教育総合研究所　特別支援教育の基礎・基本2020　ジアース教育新社　ISBNコード：9784863786154
（２）文部科学省　著作（2018）特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）　開隆堂出版　ISBNコード：9784304042317

参考書・参考資料等

（１）特別支援学校学習指導要領等（平成29年4月公示・平成31年2月公示）
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main/1386427.htm
（２）全国特別支援学校病弱教育校長会　病気の子どものための教育必携―特別支援学校学習指導要領等を踏まえた　ジアース教育新社　ISBNコード：9784863715202
（３）日本育療学会　標準『病弱児の教育』テキスト　ジアース教育新社　ISBNコード：9784863714939
（４）文部科学省初等中等教育局特別支援教育課（2021）障害のある子供の教育支援の手引　～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1340250_00001.htm

学生に対する評価

レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）